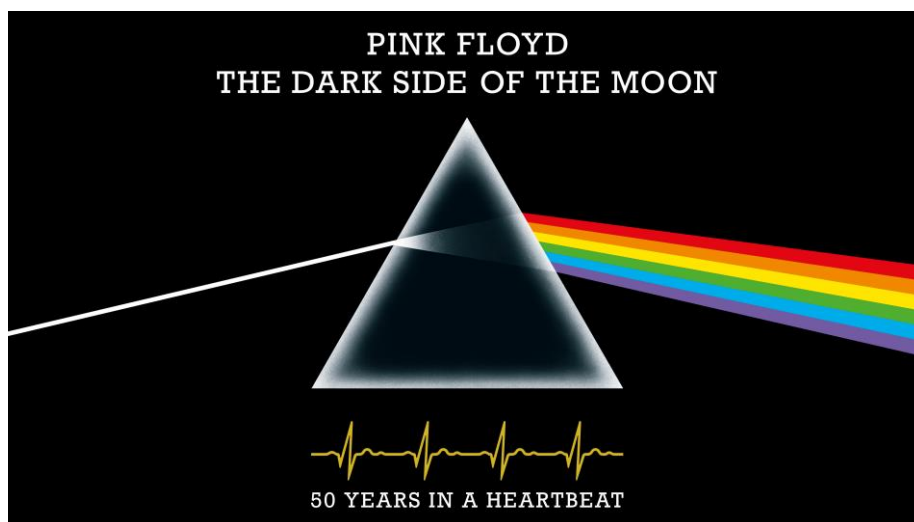


## 日本最速上映！ピンク・フロイドの名盤『狂気』が50年の時を経てプラネタリアムに蘇る プラネタリアム・ショー「The Dark Side Of The Moon」

2023年6月26日(月)～7月5日(水)の期間、コニカミノルタプラネタリアムTOKYO(有楽町)にてピンク・フロイドの名盤『狂気(原題：The Dark Side Of The Moon)』の全楽曲を使用したプラネタリアム・ショー「The Dark Side Of The Moon」を上映します。

今年『狂気』が発表されて50周年を迎えたことを記念して制作された話題作が、ついに日本での上映を開始します。



### 50年の時を経て『狂気』がプラネタリアムに蘇る

1973年2月27日、ピンク・フロイド8作目のスタジオ・アルバム『狂気』の初披露となる記者発表がロンドンのプラネタリアムで開催されます。プラネタリアムのドームには『狂気』の楽曲と共に、星や星座、宇宙のビジュアルが映しだされました。このイベントは当時大きな話題集め、これをきっかけにアルバムは現在までに5,000万枚以上の世界的なセールスを記録します。

プラネタリアムと密接な関係を持つアルバム『狂気』。このアルバムの真価を体験する場所として、そしてピンク・フロイドがデビュー以来試みてきたヴィジュアルとサウンドの融合を体験できる場所として、プラネタリアムが最も適した空間であることは間違いないはずです。

燦然と輝く不朽の名盤が50年の時を経て、プラネタリアム・ショー「The Dark Side Of The Moon」として、今蘇ります。

#### ▼特設サイト

<https://planetarium.konicaminolta.jp/program/pinkfloyd/?hall=planetariatokyo>

#### ▼作品トレーラームービー

<https://www.youtube.com/watch?v=uC6deLuQKkQ>

----- ☆報道関係お問い合わせ先 ☆ -----

共同ピーアール株式会社 PR アカウント本部9部 内山、高橋

Tel : 03-6260-4861 / Fax : 03-6260-6653 / e-mail : konicaminolta-pr@kyodo-pr.co.jp

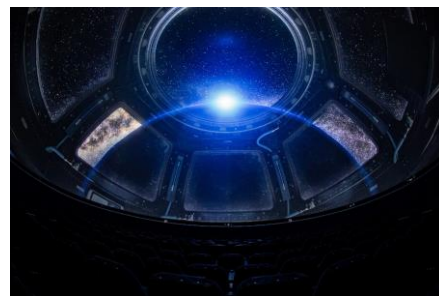
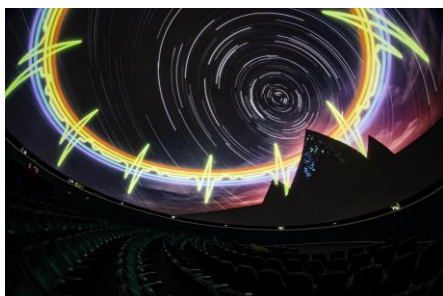
## 日本最速上映！5.1chサラウンドのドーム音響と迫力の全天周映像と最新の『狂気』体験を

この記念すべきプラネタリウム・ショーの日本最速上映が、コニカミノルタプラネタリアTOKYOにて行われることが決定しました。

本作はアルバムの収録曲、全10曲(トータル42分)が収録曲順に使用され、プラネタリウムドーム音響の特性を活かした5.1chのサラウンドミックスと共に、これまでにない『狂気』の音像世界を楽しむことができます。

さらに会場となるプラネタリアTOKYO DOME1は、ドーム天頂のみならず壁面にかけて映像を映し出すことができる高解像度映像ドームです。これによって他のプラネタリウム施設とは一線を画す、圧倒的な没入感と迫力ある映像を体験することができます。

プラネタリアTOKYOでしかできない、ピンクフロイドの音楽と映像に包まれる最新の『狂気』体験を、ぜひお楽しみください。



### ●プラネタリウム・ショー「The Dark Side Of The Moon」上映情報●

上映期間：2023年6月26日(月)～7月5日(水)

上映会場：コニカミノルタプラネタリアTOKYO DOME1

鑑賞料金：一律 2,600円(税込)

チケット販売：2023年6月23日(金)午前10時よりオンライン受付開始

### ●プラネタリウム・ショー「The Dark Side Of The Moon」作品概要●

上映時間：44分

映像制作：NSC Creative (イギリス)

配給契約：IPS (国際プラネタリウム協会)

日本配給：合同会社アルタイトル

制作：ピンク・フロイド

作品使用楽曲：

- 1 スピーク・トゥ・ミー/Speak To Me
- 2 生命の息吹き/Breathe (In The Air)
- 3 走り回って/On The Run
- 4 タイム/Time
- 5 虚空のスキャット/The Great Gig In The Sky
- 6 マネー/Money
- 7 アス・アンド・ゼム/Us And Them
- 8 望みの色を/Any Colour You Like
- 9 狂人は心に/Brain Damage
- 10 狂気日食/Eclipse

## ●アルバム『狂気』●

『狂気(原題：The Dark Side Of The Moon)』はピンク・フロイド8作目のスタジオ・アルバム。現代社会の緊張と抑圧、人間の心のなかに潜む狂気をテーマにした一大コンセプト・アルバムで、バンドとエンジニアのアラン・パーソンズによって生み出された究極の音世界は圧巻。あまりにも象徴的なジャケットのアートワークはヒプノシスによって光のプリズムをモチーフにデザインされた。1973年3月1日にアメリカで発売され、バンド初の全米1位を獲得、シングル・カットされた「マネー」も全米13位とヒットした。全米チャートで741週（15年間）連続ランクインのギネス記録、全世界トータルセールス5000万枚以上、史上最も売れたアルバム3位などの記録を打ちたて、音楽史上最も重要な作品のひとつとして今もなお世界中で新しいオーディエンスを開拓し、魅了し続けている。英国では1973年3月16日に（最高位2位）、日本では1973年4月21日にリリース（最高位2位）された。

## ●ピンク・フロイド●

©Hipgnosis, Pink Floyd Music Ltd.

全世界で2億5千万枚以上のセールスを誇り、永遠にロック史に輝く“時代を超越する音芸術”ピンク・フロイド。サイケデリックで幻想的なサウンドと文学／哲学的な歌詞。実験性に溢れた録音手法や常識を超えたスペクタクルなステージング。常にアートと密着しながら、ロックの進化とともに歩み続け、いまもなおさまざまなシーンに影響を与え続けている。1967年『夜明けの口笛吹き』でデビュー。当時のメンバーはシド・バレット、ロジャー・ウォーターズ、リチャード・ライト、ニック・メイスン。シドが脱退後デヴィッド・ギルモアが加入。その後、『狂気』（1973）『炎～あなた



あなたがここにいてほしい』（1975）『アニマルズ』（1977）『ザ・ウォール』（1979）など数々の名盤をリリース。1986年ロジャー・ウォーターズが脱退、1987年以降はロジャーを除く残りの3人のメンバーで活動。2006年7月7日シド・バレットが死去。また2008年9月15日にはリック・ライトも死去。2014年『永遠(TOWA)』をリリースし、これがラスト・アルバムとなることを宣言したが、ウクライナ支援のため新曲「Hey Hey Rise Up」を2022年8月にリリース。2023年3月『狂気』が50周年を迎え、50周年記念盤として、3月24日に「豪華デラックス・ボックスセット」、「全曲演奏ライブ盤」が発売。そして、4月19日に日本独自の50周年記念盤『狂気-50周年記念 SACD マルチ・ハイブリッド・エディション（7インチ紙ジャケット仕様）』が発売。

詳しくはピンク・フロイド日本公式：<https://www.pinkfloyd.jp/>